

■「アプリを活用した脱炭素行動促進事業」に関する質問回答書

No.	資料名・ページ数	質問内容	回答
1	<p>仕様書 P.1 2. 目的及び事業概要 「博覧会協会が運用する「EXPOグリーンチャレンジアプリ」だけでなく、GCIに賛同する民間アプリも含め、」</p> <p>公募要領 P.6 (2) 審査基準【1】事業の目的・内容の理解度 「EXPOグリーンチャレンジアプリ」と合わせて「EXPOグリーンチャレンジアプリ」に賛同する民間アプリを活用し、Jについて</p>	<p>府が指定するアプリに「EXPOグリーンチャレンジ公式アプリ」、「SPOBY」等を想定している仕様書に記載があるが、仕様書1ページと公募要領6ページを見ると、「EXPOグリーンチャレンジアプリ」のデータ提供は必須であるように読み取れる。これは「EXPOグリーンチャレンジ」または「SPOBY」どちら一方のデータではなく、両方のデータを使用することが前提なのか。</p>	<p>仕様書別紙にあるとおり、両アプリを指定しておりますので、両方のデータを使用することが前提となります。必ずしもすべての項目が同一ではないため、ダッシュボードとして別々の表現となる部分もあると思いますが、参加人数や削減量の総量など、両アプリのトータルでの貢献を表現することは必須としてください。</p>
2	<p>仕様書 P.3 5. 事業内容 (1) アプリとダッシュボード連携による府域脱炭素行動の可視化 提案を求める内容</p>	<p>「①指定アプリとダッシュボードページのデータ連携方式を具体的に提案すること。」についてプロポーザルの提出時にどのレベルで具体的に提案が必要なのか。詳細についても記載する必要があるれば、データカタログサイト、ORDENの仕様がわかる資料を提供いただきたい。</p>	<p>仕様書で求めている事項を実現するため、どのような手順や方式で行おうと考えているかをお示しいただければ結構です。なお、オープンデータカタログサイトへのアップロードは、それぞれのアプリ事業者から行っていただくため、本事業では、そこにアップロードされたデータを活用する前提でお考え下さい。また、大阪広域データ連携基盤（ORDEN）については府においてオープンデータカタログサイトのデータを自動アップロードすることとなりますので、本事業で作業頂く必要はありません。訂正してお詫び致します。参考に、データカタログサイトの仕様がわかる資料をお示します。</p>
3	<p>仕様書 P.4 5. 事業内容 (2) 企業・大学等と連携した府民向けキャンペーンの実施 イ 府民向け集客イベントの開催</p>	<p>仕様書に従い年4回のイベントを企画している。1番初めに実施するものに関しては、会場レイアウトの精査も行っているが、現時点(3月27日)でPRブースを出す権利を持たれている企業/団体数が何社いるかご教示いただきたい。</p>	<p>3/28時点で確認したところ、最大242社が出展資格がある状況となっております。なお、実際の出展数については、今後調整を行うこととなります。</p>
4	<p>仕様書 P.10 (別紙) 指定アプリ及び提供されるデータの種類・形式について 【提供されるデータの種類・形式について】</p>	<p>「・アプリ事業者から提供される日時データは、ダッシュボードに1日1回以上反映され、同時に、府が管理する大阪府オープンデータカタログサイトおよび大阪広域データ連携基盤（ORDEN）にオープンデータとしてアップロードされる。」について、アプリで取得できる日時データを上記のようなデータ連携基盤にデータをアップロードした上で、(ダッシュボード) Tableauにデータを反映させる方式が必要なのか。それとも、ダッシュボードに直接データをアップロードし、数値を反映させること、データ連携基盤にデータをアップロードすることは別として考えて良いのか。</p>	<p>オープンデータカタログサイトおよび大阪広域データ連携基盤（ORDEN）へのアップロードは、それぞれのアプリ事業者から行っていただくため、本事業では、アップロード済のデータを活用するという前提でお考え下さい。何らかの理由で、別途直接データをやりとりしたいも構いませんが、作成するダッシュボードは、仕様書記載のとおり、事業終了後も府が更新・活用できるものとしてください。</p>
5	<p>公募要領 P.5 4 応募手続き (5) その他</p>	<p>応募書類はモノクロとする旨の記載があるが、プレゼンテーション審査のデータはモノクロでなくても良いのか。</p>	<p>プレゼンテーション資料については、別途ご準備いただく予定ですが、モノクロでなくても結構です。</p>
6	<p>公募要領 P.8 8 契約手続きについて</p>	<p>本公募は、特定の民間企業が運営するアプリとの連携を前提としているため、アプリ事業者にはアテンドしたい。一方で、入札参加停止措置のイに従って、向民間企業に接触した場合、入札参加停止措置を講じられる恐れがあると理解している。本公募が向民間企業との連携を前提としている為、向民間企業自身は応募者にならないと理解してアテンドしてよいのか。</p>	<p>アプリ事業者は委託者にとって連携先であり、自身が申請者になることは公平性の観点から望ましくありませんので、ご指摘のご理解のとおり、アプリ事業者にはアテンドを行っていただくことは問題ございません。</p>
7	<p>大阪府公募型プロポーザル方式実施基準</p>	<p>大阪府電子調達(電子入札)システムの「大阪府公募型プロポーザル方式実施基準」のリンクが無効となっているため、リンク修復をお願いしたい。</p>	<p>こちらで該当リンクを確認しましたが、リンクは切れておりませんでした。再度ご確認ください。 https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/34578/003033398/106_propokijyun.pdf</p>
8	<p>アプリのアクションの種類について</p>	<p>ダッシュボードの表示にあたって、今後アプリのアクションの種類が増えていくということも考えられると思うが、ダッシュボードの項目の追加等についてはどの程度見込んでおけばよいか。</p>	<p>SPOBYについては、移動、階段上り下り、テレワーク、マイボトル、廃食油、コンポスト、公共交通ECOMOVE、CFPの8項目を想定されており、今後増えた場合も数項目以内の見込みです。EXPOグリーンチャレンジアプリについては、現在、廃食油、マイボトル、省エネ行動、食べ残しゼロ、ごみ拾い、旅行、旅行先でのマイ歯ブラシ利用の7項目あり、増えることは想定されていません。</p>